

株式会社パソナテック

Ignite UI for JavaScript を活用し、
顧客ビジネス基盤の迅速なクラウド移行
をサポート

株式会社パソナテック（以下、パソナテック）はパソナグループの一員として1998年に設立され、パソナグループの企業理念「社会の問題点を解決する」の通り、テクノロジー分野に特化して事業を展開しています。

同社は新規事業から大企業、メーカーからWeb企業までの幅広い業種、業態に対してITソリューションを提供しています。サービスを提供している顧客として、マイクロソフト、楽天、日本ヒューレット・パッカー、ソフトバンクなど、業界の大手各社が含まれています。

見積もり、受注処理、請求や支払い、それに顧客管理といったお客様の事業遂行に必要なアプリケーション構築と並んで、クラウドサービスを基盤としたソリューション提供も、同社におけるシステムインテグレーション事業の要となっています。

オンラインエンタープライズシステムの構築を支援する、パソナテックシステムソリューション事業部、シニアマネジャーの新山良平氏によると、近年、クラウドベースの業務アプリケーションの開発需要が増加しており、同社に対する問い合わせは、2016年に前年の2.5倍まで増加しました。



株式会社パソナテック
システムソリューション事業部
シニアマネジャー
新山 良平 氏

新山氏は、「お客様がパソナテックを選択される主な理由は、我々の専門知識、豊富なWebシステム構築経験、強固かつ豊富な開発リソース、そしてkintoneを使ったシステム構築実績にあります。」と会社の強みを述べています。

同社はクラウド サービスを活用し、業務システム構築の需要に迅速に対応してきた一方、直感的かつ、パフォーマンスの高いユーザーインターフェース(以下、UI)を提供する事に課題を感じていました。

この課題を解決するため、パソナテックは2016年にインフラジスティックスの開発ツール製品を採用し、インフラジスティックスが提供するデスクトップ、タブレット、スマートフォンに対応した高機能、高パフォーマンスWeb向けUIコントロールセットである [Ignite UI for JavaScript](#) (以下、Ignite UI) の使用を開始しました。

「この取り組みは、競合他社とのサービス提供の差別化に役立ただけでなく、我々のお客様にとっても、Ignite UI が提供する豊富な機能がシステムに対して価値を付加できたということをご理解いただける結果となりました。」

パソナテック システムソリューション事業部、シニアマネジャー、新山 良平 氏

お客様の Web アプリケーションを迅速に構築

パソナテックはクラウドベースの業務アプリケーションプラットフォームであるkintoneを活用し、同社の顧客に対して業務Webアプリケーションをクラウド上に構築する支援を行っています。このプラットフォームを使用することで、新山氏が所属するチームは、様々な業務システムを迅速に構築してきました。これまで、サービス業、メディア、金融保険業、公共団体、流通、商社、製造業などに対しておよそ60件を超える構築実績を重ねています。

しかし、kintoneを使用しシステムを短期間で稼働させることはできたものの、顧客の要望を満たすという点やアプリケーションのパフォーマンスにおいて課題が発生しました。

「kintoneは、テーブルやボタンのような基本的なHTML要素を提供していますが、機能的な面からそのままではお客様のご要望を満たせないことがありました。」と新山氏は述べています。さらに新山氏は、「アプリケーションの可能性を最大限まで引き出すために、直感的に理解できる使いやすさ、大量のデータを処理できる機能、データ分析機能を備えたUIが必要でした。」とも述べています。

新山氏率いるチームは、これらの課題を解決し、顧客が保有しているデータを最大限活用できるユーザビリティを提供することが可能なUIコンセプトを探し始めました。

「ある案件で構築したシステムにおいて、より高度な機能と優れたUIを提供する方法を検討しました。」と、新山氏のチームに所属する、同システムソリューション事業部の安部礼那氏は述べています。「私どものほとんどのお客様は、経費精算、タイムシート、在庫管理にこれまでExcelを使用されてきたご経験があり、クラウドベースの業務アプリケーションへの移行時においてもExcelと同じインタラクションを求められることが多々あります。」とも述べています。

安部氏が所属する開発チームが最初に検討した他のスプレッドシートUIは、課題解決となるものではありませんでした。



株式会社パソナテック
システムソリューション事業部
安部 礼那 氏

「お客様からは、Excelのような機能がないというご指摘を頂戴しました。また、アプリケーションで利用できるグラフィックスの範囲も限られていました。」と、安部氏は述べています。もっとExcelのような機能を、というこの要求は、特に金融保険業、公共団体、流通、商社、および製造業のお客様の中の共通の要望でした。

その上、更に、画面におけるデータ処理をより高速させるという必要にも迫られました。

「大量のデータを扱うことができなかったのです。スプレッドシートの更新後、画面が表示されるまでに、平均で10秒程度待たなければいけない状況でした。この間、お客様は、システムが停止しているのか、あるいはまだ処理中なのかを知ることが困難となってしまいました。」と、安部氏は当時を振り返っています。

このような状態が頻発するため、お客様にとってはストレスと不満の原因になっていました。

他のUIコントロールを数カ月試した後、同社開発チームはお客様の要件を素早く実現でき、また、パフォーマンス上の課題を解決する新しい UI コントロールが必要であることを認識し、同社が提供する「むすぶサービス」において kintone とインフラジスティックスが提供する Ignite UI を組み合わせて顧客に提供することを決定しました。

正しく「むすぶ」ことで差別化を実現

それ以来、新山氏が率いる開発チームは、これまで5社に対してIgnite UIを使用してシステムを構築してきました。

新山氏は「この取り組みは、競合他社とのサービス提供の差別化に役立っただけでなく、我々のお客様にとっても、Ignite UIが提供する豊富な機能がシステムに対して価値を付加できたということをご理解いただける結果となりました。」と述べています。

安部氏は前述のパフォーマンスに課題を抱えていたプロジェクトについて、「Ignite UIを導入後、お客様より、全体のパフォーマンスが改善したこと、大量のデータ処理でもこれまでよりも応答がずっと速く、グラフィックス、グリッド、チャート、データ処理など、全てにおいて直感的に利用できるようになったとお言葉を頂きました。」と同社の顧客からの評価を述べています。

同氏は、また、別のプロジェクトにおいて、顧客の社内における要望を集計しその頻度順にランク付けを行う、という要件を求められた際に、kintone標準では難しかったデータの集計表示をIgnite UIで提供しているピボットグリッドを同社が提案することで、顧客がデータを効果的に分析することができるようになったという実例についても言及しています。

これまでの例のように、Ignite UIは、kintoneが提供する標準のスプレッドシート機能の限界を補うのに役立ちました。

安部氏と同じく、新山氏のチームに所属する、太田 貴氏は、「kintoneの標準機能には特定の用途に対応する計算ができないという制限がありました。そのため、Ignite UIで提供されているグリッド (igGrid) の機能を活用し、要件を実現しました。」と述べています。



株式会社パソナテック
システムソリューション事業部
太田 貴氏

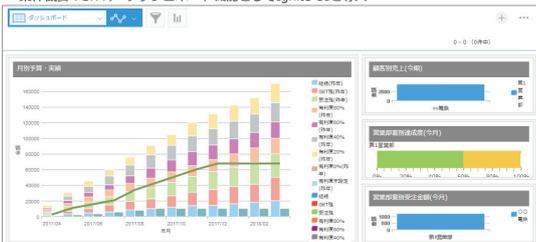
加えて、太田氏は、Ignite UIが提供する、リストレイアウトやタイトル管理など、レイアウト機能とそのカスタマイズ性からなるダッシュボード向けの機能が、複数の画面遷移や表示を行うことなく、1画面でデータを表示、分析を行いたいという顧客のニーズを満たせると言及しています。

さらに、テーブル表示に関しても標準ではデータの変更を1行ずつ行うことが求められますが、igGridが持つ、複数行を一度に編集、保存するという機能が好評を得ており、「この機能を取り入れることで、効率性が大幅に向上しました。結果、お客様から非常に歓迎されました。」と太田氏は述べています。

Ignite UI kintone適用事例①

● 顧客：情報システム系企業

案件概要：SFA / ダッシュボード機能としてIgnite UIを導入



タイトルレイアウトとチャートを組み合わせたダッシュボード

また、Ignite UIはkintone上のデータを可視化することができますが、この機能はPCやタブレット、スマートフォンといったマルチデバイスにおいても表示が可能となるため、顧客が使用するデバイスのニーズに応えることができます。

安部氏は、「お客様からの要求はPCを念頭に置いて始まるのですが、昨今のモバイルデバイスを活用するというトレンドを反映し、システム導入後、時間の経過と共にタブレットでもアプリを閲覧したいとご要望をいただくことが多くなっています。」と、これまで実際に同社の顧客から要望を受けたことを明かしています。

新山氏は、「お客様が、より強力なデータ分析機能と直感的なUI機能により、競争上の優位性を高め、ビジネスニーズを満たすことができるようになりました」とIgnite UI導入の効果について述べています。

Ignite UI kintone適用事例②

● 顧客：製造業系企業

案件概要：販売在庫管理システム / Ignite UIのpivotにてアイテム別販売実績分析機能を実装



Excelのピボットテーブルと同等のクロス集計

スムーズな導入と今後の展望

安部氏は、インフラジスティックスが提供する優れた技術サポートサービスにより、同社の開発者がコンポーネントをスムーズに導入することができたと述べています。

「弊社から問い合わせを行った際に、インフラジスティックス社のサポート担当者から迅速に回答を頂きました。また、サポートを利用していただいた際に本当に役立ったのは、ほぼ毎回、サンプルソースが送られてきたということです。この実装例は、弊社のエンジニアにとって非常に役立つものでした。」とも語っています。

新山氏のチームは、今後もクラウドベースのWebアプリケーションでExcelのような機能を必要とし、さらに高いパフォーマンスを求めるお客様に対して、引き続き、Ignite UIとkintoneを組み合わせたソリューションを提供し、使いやすいサービスを提供していく方針です。

これはパソナテックの経営理念として掲げられている、ソフトウェア、ハードウェア、そして、ヒューマンウェアを通じ、経済に新たな価値を創造するビジョンにかなっています。

新山氏は今後もパソナテックが提供するIgnite UIを活用した同社のサービスに対する需要が増加し、本年の売り上げが2倍になると予測しています。「この協業により、弊社は近い将来、クラウドビジネスソリューションのトップリーダーになることを目指しています。」と締めくくるとして、新山氏は今後の展望について語っています。

Ignite UI for JavaScriptについて

Ignite UI for JavaScriptはデスクトップ、タブレット、スマートフォンにおいて高機能かつ高パフォーマンスなWebアプリケーションを構築するためのUIコントロールセットです。このUIコントロールセットは、グリッド、チャート、エディターコントロールなど業務アプリケーションにおいて必須のコントロールを提供しており、開発者は開発工数を削減しつつ、高機能なアプリケーションを構築することができます。さらに、Ignite UIは、Angular、React、Knockout、Bootstrap、ASP.NET MVCといった人気のあるフレームワークと同時に使用することも可能です。詳細については製品ページ (<https://jp.infragistics.com/ignite-ui>) をご覧ください。また、Ignite UIは、Web、モバイル、デスクトップ全てに対応するInfragistics Ultimateにも含まれており、30日間の無料トライアル版を提供しています。

インフラジスティックスについて

インフラジスティックスは、アプリケーションの設計と開発、データの可視化と分析、コラボレーションを促進させるツールやソリューションを世界的なマーケットリーダーとして提供しています。その中でも、インフラジスティックスが提供する企業向け開発ツール製品「Infragistics Ultimate」は全世界において200万人以上の開発者が利用しています。この開発ツール製品を使用することで、開発者はクラウド、Web、Windows、iOS、Androidなどさまざまなプラットフォームでアプリケーション開発を行ったり、素晴らしいユーザーエクスペリエンスを実現するためのプロトタイプを高速に構築したりできます。さらに、「ReportPlus」、「SharePlus」に代表されるエンタープライズモバイル製品では、ビジネスユーザー向けにデータの可視化や分析、コラボレーション機能を提供しています。

製品に関してのお問い合わせ：インフラジスティックス・ジャパン株式会社 営業部

Email: JapanSalesGroup@infragistics.com

TEL: 03-6892-8034

<https://jp.infragistics.com>

本事例は2017年5月時点のものです